

# きのくに子ども NPO

2019. 3. 1. 発行

第 139 号  
きのくに子ども NPO  
〒640-8401  
和歌山市福島487 ルミノープふい1C  
Tel.Fax : 073-452-7710  
E-mail : [kinokuni\\_kodomo@nifty.com](mailto:kinokuni_kodomo@nifty.com)  
<http://kinokunikodomo.d.doo.jp/>

## 雪遊びに Lets Go!

2月2日~3日 函館山・マキノ高原

## 遊ひつくした今年の雪!



雪遊びが一番楽しかったことは、ゴンドラ  
で上へ行って小さなかまくらを作ったこと  
です。ゴンドラで上へ行くと少し怖かった  
けど、友達や家族と話しているところでも楽し  
かったです。  
二番に楽しかったことは、宿の中でいた時  
です。下は大人がすまじと食べてかやかや  
していたけど、上では子供がおもしろい話  
をしてかやかやしていました。  
そりて坂の上に登るときは、こんなの行け  
るの!と思いました。でも、すべるときは、  
い!と思つてまた山を登つたので、えー早  
い!とつた。えーもう終わったの!と思つたの  
で来年の4年生になつても行きたいです。  
歌山はあまり雪がつかまらないので、かまく  
らや雪がっせん、雪山登り、宿の中でお友  
達と遊びました。

小笠村上 美乃留

今年の雪遊びは滋賀県函館山へ。ゴンドラに乗り  
て真下に広がる白い雪に大興奮!小学生以上の子  
ども達は琵琶湖を眺めながらスノボやスキー、幼児  
さんは散歩したり、雪遊びを思い切り楽しみまし  
た。夕飯後は、猛獣狩りなどゲームしてたら鬼乱入!  
必死に落花生を投げつけた私。スカツとした  
翌日はマキノ高原でテッカいかまくら作りや雪  
の中のハイキングも。私も童心にかまくら作りや雪  
せてもらいました。  
(機関紙部 佐津薫)



← 2面に続く

高学年~大人

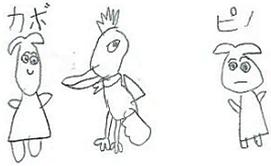
舞台鑑賞

「チャンプルー」

~私が幽霊!? 修学旅行~

3月20日(水) 18:30~19:40

和歌山市民会館 市民ホール

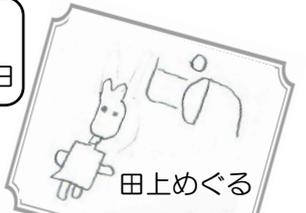


村上あつき

みんな観たかな？

# 人形劇団ココン 「カボとピノ」 2月9日

鑑賞アンケートに書いてくれた、かわいい  
「カボとピノ」紙上ギャラリー だよ！



田上めぐる



上田まいか



小泉かりん

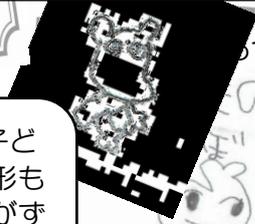


永沼ほのか

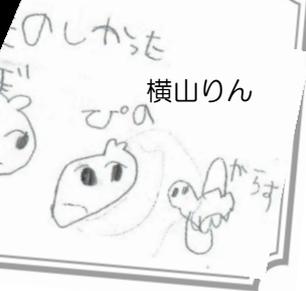
のんびりして、癒されました。ピノが  
かわいかったです。兄弟ゲンカがリアル  
で、面白かったです。大きな魚が出  
てきたところは子どもたちもびっく  
りしていました(引土 史)

じぶんとおとうとだど  
おもちゃいました。  
(戒田あやか 年長)

最初に出てきたブタがおもしろかった！(子  
ども談) お話が最後までつながっていて、人形も  
お話も大人もとても楽しめました。子どもがず  
っと笑顔で見ていたので、観に来れて良かった  
です。(筒井佑子・柗太4才)



あつき



横山りん



次回鑑賞は  
高学年～大人向き

## 「ちゃんぷるー」～私が幽霊!? 修学旅行～

3月20日(水) 和歌山市民会館 市民ホール



この舞台劇は日本児童演劇協会と鹿児島  
島の中高生(プロジェクトチーム)の共同  
作品です。鹿児島の中高生が実際に沖縄  
に行き、見聞きし、感じたことをもとに  
劇団と作り上げました。大人が子どもの  
ために作ったのではない、子ども自身が  
伝えたいことをカタチにした演劇です。  
同世代の子ども達にぜひ、観て欲しいと  
強く思います。

会場の設定も珍しい形体で、客席が真

ん中にあり 360 度周りが舞台。観客も  
作品の中に取り込まれていくような一体  
感を味わえます。笑いあり涙ありの 70  
分があつという間に感じられることでし  
ょう。

今回は特別に「お友だちを誘って一緒  
に観るチケット」を用意しました。一人  
でも多くの中学生・高校生・青年に観て  
もらいたいです。どしどしお声掛けして  
下さいね。



も有難く思いました。  
ゴールしてました。  
宿でも自分で食器を片付けたり、自分でト  
イレや洗面に行ったりと昨年と比べ自主性が増  
しているのが感じられ、このような機会をとて  
も有難く思いました。  
上の子はきのぴーの方々やお友達と過ごすの  
が楽しく刺激になるようで、トレーニングの時  
もいつの間にかくっついて行って先に皆さんと  
ゴールしてました。  
途中、動物達の足跡を見つけたら雪に足を取ら  
れたり細い橋をすべらないように渡ったりしな  
がら、下の子もがんばって歩き通しました。  
上の子はきのぴーの方々やお友達と過ごすの  
が楽しく刺激になるようで、トレーニングの時  
もいつの間にかくっついて行って先に皆さんと  
ゴールしてました。  
宿でも自分で食器を片付けたり、自分でト  
イレや洗面に行ったりと昨年と比べ自主性が増  
しているのが感じられ、このような機会をとて  
も有難く思いました。

### ↑1面より続々

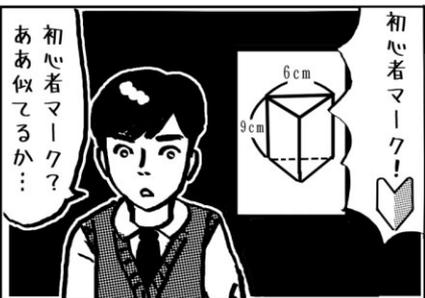
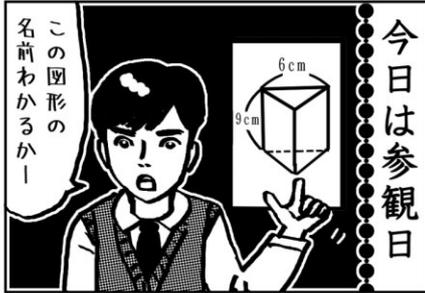
雪遊びに参加して

村上 由香子さん大人



# 小学五年生日記

117



## やきいも食べて

## たこあげしよう

1月27日(日)

毎年恒例の「たこあげ大会」。今年はいつもの凧あげ大会と違い、コンテストをして、景品を用意したので、参加者は大張り切り！  
高く飛ばしている人は勿論、一人で頑張ってる子や手作りの凧のデザインが可愛い人など、体験活動部員が審査してバラエティに富んだ賞を贈りました。色んな人が楽しめたかな？お菓子で作ったカバンや素敵な凧などの景品も好評でした。

凧あげ名人のおじさんが、凧あげのコツも教えてくれたよ。イクピリーのコマ回しコーナーではたくさんの方がベーゴマ、コマに挑戦。焼き芋や豚汁も美味しくて、風もたくさん吹いていて、おそと日和の一日でした。



## お話の世界であそぼ 「11ぴきのねこ」編

2月17日 河西コミセン



3歳の娘は場所見知り、人見知りがあってなかなか私から離れられないので、楽しめるかなあと心配していました。案の定、最初は私に抱きついて離れず、でも興味はあるみたいで手をギュッと繋いだまま参加していました。でもだんだん、ジャブを助けるためロープをみんなで引っ張ったり、お魚を干したりするあたりから促すと私の手を離してロープを持ったりできるようになり、そして最後、ママたちの手の上を通過してどろぬまにザブーンは本当に楽しそうで、そのあとは私からすっかり離れて自分から走って笑顔でどろぬまに行っていました！

1時間の中で子どもの成長を見てとても嬉しかったです^\_^ そして、私も他のママさんと手を繋いで子どもたちを腕に乗せてどろぬまにおとすのは「重たい！重たい！」と笑いながら一体感が生まれて

とても楽しかったです！(番匠朝子)

